

防災教育 実践レポート

山口県教育庁学校安全・体育課

7月10日(火)山陽小野田市立埴生中学校で、地域の方を招いての防災教育講話開催

埴生中学校の全校生徒135名が参加して、元埴生漁協組合長の大崎進さんによる防災教育講話が埴生中学校体育館で開催されました。

当日のテーマは、

- 1 台風18号の高潮被害について
 - 2 避難場所を知ろう
- の2点でした。

1 台風18号(平成11年)の高潮は怖かった!

○ 高潮被害の発生する条件とは?

- ・ 台風が埴生地区の西側を通るコースのときです。
- ・ 台風上陸と満潮時間が重なるときです。



○ 被害に遭わないための対策とは?

- ・ 天気予報などで確かな情報を入手することです。
- ・ 台風のときには外に出ず家の中にいることです(大雨なのに田や川を見に行く、大風なのに屋根に登るのは、人間には『自分は大丈夫』という意識が働くためです。)
- ・ 心構えとして『高潮を侮らない、心配しすぎない、避難は迅速・慎重に』が大切です。

○ 高潮被害の様子です。

- ・ 海面が6m上昇し、波が堤防を越えて押し寄せてきました。



- ・ 海岸付近の家は高潮により壊れ、がれきの山があちこちにできました。



2 避難場所を知ろう!

- ①住んでいる地区ごとに3~6人のグループを作りました。
- ②埴生地区高潮ハザードマップを使って、自分の家と避難場所を確認しました。



- ③家から学校までの通学路にマジックで線を引き、登下校中の避難場所を確認しました。



- ④分かったことを発表しました。

国道沿いや前場川付近は危険ということが分かりました。



自分の家からの避難場所が確認できました。

避難場所が思ったよりたくさんあり、安心しました。